

ボランティア  
のための

# 多様性理解と支援のコツ ～持続可能な活動のために～

ボランティア活動中に、「これは聞いて良かったのかな？」と、  
**もやもやすることはありますか？**

また、活動が続ける中で、辛さや苦しさを感じたり、傷つくことが  
あったとき、どのように対応すればよいのでしょうか？

年齢・性別・国籍・宗教や立場がさまざまな人間関係の中で、

すべての人が尊重される活動をおこなうためには**自らの  
特権性やセルフケアに関する視点を養うことが大切**です。

多様な背景を尊重するための体験型ワークをとおして  
一緒に学びませんか？



**多様な背景を尊重するための体験型ワークショップをとおして  
ご自身の特権性※やマイノリティ性を認識してみましよう。**

※特権性：「ある社会集団に属することで自動的に付与される優位性」のこと



## 【ねらい】

- ・ 持続可能な活動のために**必要な心構えやスキル**について学ぶ
- ・ **体験型ワークショップ**を通じて、**参加者同士が実践的に学ぶ**
- ・ **特権性や多様な背景を理解**することで、より良い支援を行うための**視点を養う**

## ●日時

2024年**12月9日（月）**

13:00～17:00

## ●会場

**あいち国際プラザ**

2F アイリスルーム

（名古屋市中区三の丸2-6-1）

## ●参加費

**無料**

## ●申込締切

**12月2日（月）** 正午必着

## ●対象

- ・ AIAボランティア
- ・ 県内 市町村および市町国際交流協会の**ボランティア**

## ●定員

**30名**

※定員を越した場合は、抽選となります。参加可否は**12月2日（月）**までにメールでお知らせします。

## ●講師

地域国際化推進アドバイザー  
**岩城 あすか氏**

## ◆講師：岩城 あすか 氏（地域国際化推進アドバイザー）



大阪外国語大学トルコ語専攻を卒業後、1997～2001年までトルコのイスタンブール大学(院)に留学。日本の新聞社や出版社、テレビ番組等のトルコ語通訳・コーディネーター業に従事するほか、復興支援プロジェクトにも携わった。帰国後はトルコ大使館や国連UNHCRなどの臨時通訳をつとめた。2005年に箕面市の外郭団体である『（公財）箕面市国際交流協会』の事務局長に就任。2013年に箕面市小野原地区に新設された『箕面市立多文化交流センター』の館長となる。現在は『（公財）箕面市国際交流協会』総務課長兼『箕面市立多文化交流センター』館長として、地域の国際化を進めるための事業を展開している。

## ◆申込方法



以下の内容をQRコードまたは下記のURLからお送りください。

- ①お名前（ふりがな）、②電話番号、③メールアドレス、④所属している団体、⑤活動年数、⑥活動ジャンル（日本語教室・通訳など）、⑦講師への質問
- ※受付後こちらから、自動的に受付完了メールが届きますが、もしも届かなかった場合はお申込みいただいたメールアドレスが間違っている可能性があります。その際は下記、問合せ先にご連絡ください。

## ▶URLはこちら

<https://forms.gle/56BR63YWptpf9eEs9>

## ◆会場

**あいち国際プラザ**  
(名古屋市中区三の丸2-6-1)

- ※無料の駐車場あり
- ※地下鉄「名古屋城」駅  
5番出口から徒歩5分
- ※地下鉄「丸の内」駅  
1番出口から徒歩10分

## ◆問い合わせ先

(公財) 愛知県国際交流協会  
交流共生課 交流共生担当  
TEL : 052-961-8746  
E-mail : koryu@aia.pref.aichi.jp

## ◆地図



※いただいた個人情報に関しては、本事業の運営にのみ利用するものであり、本人の了解なしに第三者に公開することはありません。

※当日、愛知県内に大雨、洪水、暴風などの警報が発令された場合など、参加者に危険が生じるおそれがあると主催者が判断した場合には中止となることがあります。

※中止となる場合、当日、午前中に上記のホームページに掲載いたしますので、各自でご覧ください。